

あぐいめ〜る新川

第80号(平成30年8月発行)
富山県新川農林振興センター
〒938-0801 黒部市荻生3200
(TEL) 担い手支援課 (0765) 52-0268
(0765) 52-5192
農業普及課 (0765) 52-0094
(0765) 52-0945
(FAX) (0765) 52-3115

新川 農業の未来を担う人 ~第26回~

よねはら あきひろ

米原 章浩 さん (入善町神林)

~ 地域の方々に地元の農産物を届けたい ~

米原章浩さんは、他産業に従事後、両親の水稲経営を引き継ぐため、1年間の研修を経て、平成24年に就農され、新たに導入したパイプハウスでのミニトマト栽培やさとも栽培等を組み合わせた複合経営に取り組んでいます。

特に地域の消費者に地元の農産物を届けたいとの思いから、顔の見える販売にも力を入れており、品質の高い農産物の提供を目指し、栽培技術の向上に努めています。

また、「みな穂さとも出荷組合」や青年農業者組織「APG黒東」の役員も務めるなど、地域農業の発展に貢献するとともに農業者とのつながりを大切にしています。



米原章浩さん (ミニトマト栽培ハウスにて)

~ GAP 認証で楽しく働ける農場を目指して ~

経営の主力であるミニトマト栽培では、約11aのハウスで養液隔離土耕栽培システムを導入しています。妻の宏美さんやアルバイト従業員とともに5月から11月末まで収穫・出荷作業に追われながらも、楽しく働いています。夏季高温時の樹勢低下などの課題があるものの、気象変動やトマトの生育に応じた適切な管理により、管内でもトップクラスの出荷量を誇っています。

米原さんは「楽しく仕事し、幸せに暮らす」ことをモットーとし、現在はミニトマト部門についてASIAGAP 認証の取得に向け準備しており、「家族や従業員、お客さん、地域の方々、関係するみなさんがより一層幸せとなるよう努力していく」と考えています。



合鴨農法による有機栽培米の生産

P.2、3…今年の米づくりの正念場！水管理と早めの刈取りで品質確保！！

P.4… 白ねぎを栽培してみませんか！

P.5…「とやまのカン(寒)・カン(甘)野菜」をつくりませんか！

P.6…「富(ふ)富(ふ)富(ふ)」の今後の生産・PR等の予定について
6次産業化の取り組み紹介 ~ (株)アグリライズ南保(入善町) ~

今年の米づくりの正念場！水管理と早めの刈取りで品質確保！！

本年のコシヒカリは、高温により成熟が早回っており、「**胴割粒** (図1参照)」や「**白未熟粒**」の発生が懸念されます。今年の水づくりの集大成として、“水管理の徹底”と“早めの刈取り”“丁寧な乾燥”で、品質の確保に努めましょう。



図1 胴割粒

1. 何故、胴割が起こる？

「胴割粒」の発生原因には、**高温・多照の気象的要因**と、**早期落水や刈遅れなどの人的要因**があります (図2参照)。

今年は8月1日頃の出穂以降の数日間が**高温・多照**で推移したため、米粒へのデンプン蓄積が不十分となり、“割れやすい米”となっていることが考えられます。

このため、フェーン現象や早期落水、刈遅れなど、急激な水分変化があると“**胴割粒が発生しやすい年**”であることを十分認識した上で作業を行うことが重要です。

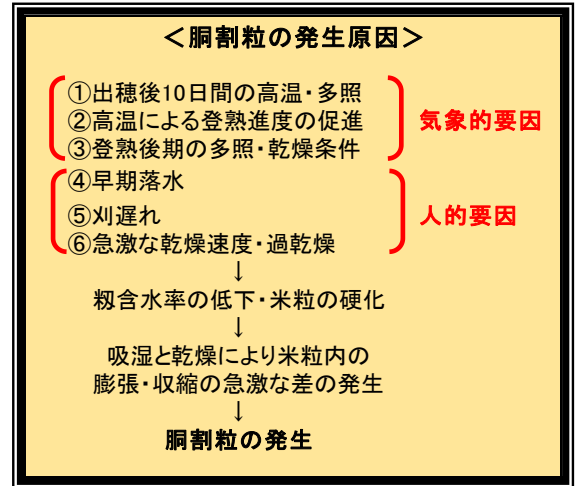
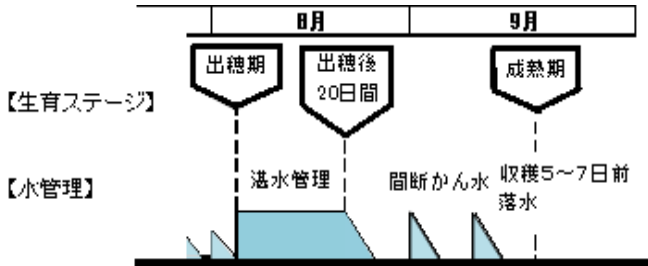


図2 胴割粒の発生原因

2. 今後の管理について

(1) 収穫直前までの水管理

<水管理のイメージ>



水稻の品質低下（白未熟粒・胴割粒）を防ぐには、**出穂後20日間の湛水管理** (図3参照) とその後の**刈取直前まで間断かん水** (図4参照) を確実に行い、**稲体の活力を維持**させることが重要です。

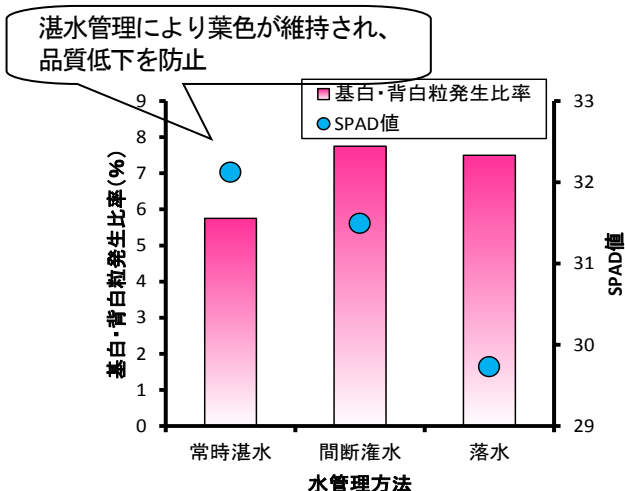


図3 登熟期間の水管理が葉色及び玄米外観品質に及ぼす影響 (H25 農研)

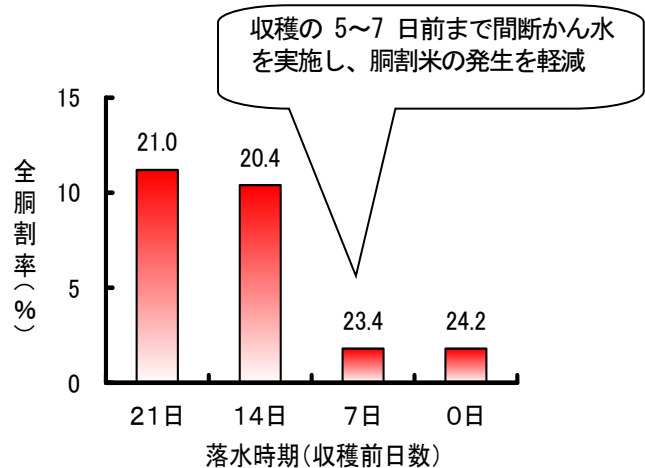


図4 落水時期と立毛胴割れの関係 (農研)

注) 図中の数値は収穫時の籾水分

(2) 刈取りは、**籾黄化率 80%でスタート、90%までに終える**

登熟日数は年によって 35～43 日間と幅がありますが、高温年では 35～38 日間で成熟期を迎えます【図5参照】。

本年は、高温での登熟が想定されるため、籾黄化率 80% (出穂後の積算温度 950℃) で刈り始め、黄化率 90% (同 1,050℃) までに刈り終えることが重要です。

このため、経営体毎に、①**田植日や出穂日が早く、籾黄化率が 80%に達したほ場から順次刈取る**こと、②**早生品種はコシヒカリの刈取り開始予定日までに刈り終えておく**こと等、**計画的な刈取りとなるよう事前に検討**ください。

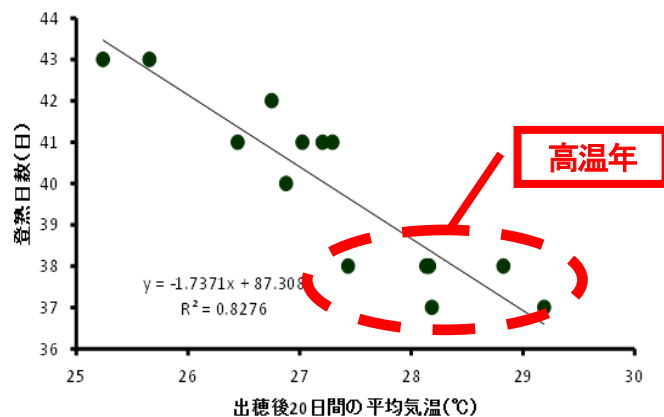


図5 出穂後20日間の平均気温と登熟日数の関係 (H15～28生育観測ほ)

コシヒカリの刈取り時期の目安

田植日 (月/日)	出穂期 (月/日)	刈取適期	始期	～	終期
		[籾黄化率] [積算温度]	80% 約950℃	85% 約1,000℃	90% 約1,050℃
5/5頃	7/28		9月4日頃	9月6日頃	9月8日頃
5/10頃	7/31		9月7日頃	9月9日頃	9月11日頃
5/15頃	8/2		9月10日頃	9月12日頃	9月14日頃

(3) 乾燥作業は、**低温乾燥で!!**

胴割米の発生を防ぐために、乾燥速度は0.8%/hr以下としましょう。

なお、“外気温が高い場合”や“籾水分が20%以下と著しく低い場合”は、送風温度を基準より5℃程度低くし、乾燥速度は0.6%/hr以内としましょう。

富富富の刈取りについて

富富富は、コシヒカリより籾の黄化にバラつきが出やすい傾向があり、全体の黄化を待っていると、先に熟した籾が胴割粒になりやすく、注意が必要です。

このため、富富富の刈取適期は **籾黄化率80～85%** となります。

刈取適期



白ねぎを栽培してみませんか！

富山県を代表する野菜『白ねぎ』は、7～12月にかけて、名古屋、岐阜及び県内市場へ出荷され高い評価を得ています。近年は、省力機械(乗用管理機、収穫機、根葉切り皮むき機等)を活用して2～3ha を作付する営農組織や法人経営体が増加しています。当センター管内においても、3JAが1億円産地づくり戦略品目に選定し、生産振興が図られています。

1. 複合化品目としての魅力

- (1) 露地野菜のなかでも10a当たりの売上や所得が大きい品目です。また、地域振興作物作付助成や価格保証制度等が充実しています。
- (2) 主要作業(播種、定植、土寄せ、収穫、調製等)ごとに簡易な機械から高性能機械まで複数の省力機械が開発されており、機械化一貫体系の確立による省力・軽労化が可能です。
- (3) JAが選別場・保冷庫を保有している場合は、作業時間のかかる選別・箱詰作業を委託できるため、面積拡大が容易であるとともに、出荷前に予冷し高品質な白ねぎを出荷することができます。
- (4) 全農とやまの販売支援体制が整備されており、7月収穫の短葉性ねぎ(全長40cm、軟白長20cm)や12～2月収穫のハウス白ねぎ(全長72cm、軟白長40cm)を組み合わせることにより、ほぼ周年的に生産することができます。



乗用管理機



収穫機

2. 作業体系・労働時間

白ねぎの作業体系及び10a当たりの作業時間(播種・育苗作業を委託し、「4/下定植」、「9/下～10/下収穫」の場合)は下表のとおりです。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
作業体系	○ …… ○ △		△ ——— △			■ ————— ■							
	播種・育苗			定植			収穫						
月別労働時間 (時間/10a)				12	15	15	20	20	75	150			307

3. 生産・出荷の留意点

- (1) 排水の良いほ場を選定し、深い額縁排水溝を設置する等排水対策を徹底します。
- (2) 「基肥一発肥料」を使用し、生育に合わせて5回程度土寄せを行います。
(一度に多くの土を寄せすぎない)。
- (3) 土壌病害対策を、①定植時、②梅雨入り前後、③梅雨明け前後 の3回、必ず行います。
- (4) 選別調製時に、「葉に病害虫の被害がないこと」、「軟白部や根部に軟腐病の発生が見られないこと」等に注意し、高品質な白ねぎを出荷します。

「とやまのカン（寒）・カン（甘）野菜」をつくりませんか！

「とやまのカン(寒)カン(甘)野菜」は、冬の寒さで糖度が増すなどの野菜のおいしくなるメカニズムを最大限に利用した冬期限定の高付加価値野菜です。今回は、今からでも間にあうハウスや露地で作れる野菜4品目の作型と栽培のポイントを紹介します。

作付を希望される方は、園芸振興班(電話 52-5192)まで。



量販店で販売する際のステッカー

1. ハウス栽培

(1) 寒締めほうれんそう（品種：スーパーヴィジョン、弁天丸）

10	11	12	1	2
○——○		◇——◇	□——□	
は種(10月6日~20日)		寒締め	収穫	

- ・適期は種し、寒締めを開始するまでに生育量(株重 50g・草丈 25cm 程度)を確保する。
- ・寒締め期間(20 日程度)の経過後、葉柄の糖度(8 度以上)になり、最大葉長(35cm)を確認し、収穫を開始する。

(2) 寒締めこまつな（品種：冬里）

11	12	1	2
○——○		◇——◇	□——□
は種(11月5日~20日)		寒締め	収穫

- ・適期は種し、寒締めを開始するまでに生育量(草丈 20cm)を確保する。
- ・寒締め期間(20 日程度)の経過後、糖度(6 度以上)になり、最大葉長(26cm)を確認し、収穫を開始する。

2. 露地栽培

(1) カンカンかぶ

(中小かぶ品種：富山かぶ・たかふじ、赤かぶ品種：あかくら、もものすけ)

10	11	12	1
○——○			□——□
は種(10月1日~10日まで)			収穫

- ・玉の形状や肌の良し悪しが商品性を大きく左右するので、耕土が深く、排水が良いほ場を選択する。
- ・適期は種し、降雪前に生育量を確保する。
- ・12 月中下旬を目安に、根径が 7~8cm 程度に生育したことを確認し収穫を開始する。

(2) カンカンだいこん（品種：千都）

9	10	11	12	1	2
○○			□——□		
は種(9月20日頃)			収穫		

- ・肌の良し悪しが商品性を大きく左右するので、耕土が深く、排水が良いほ場を選択するとともに、深耕や排水対策を積極的に行う。
- ・適期は種し、降雪前に生育量を確保する。
- ・12 月中下旬を目安に、根径が 6~7cm 程度に生育したことを確認し収穫を開始する。

「富富富」の今後の生産・PR等の予定について

管内の「富富富」の生育は、茎数が多く、葉色が濃いなど、旺盛な生育となっており、9月上旬頃の収穫を見込んでいます。また、木村文乃さんを起用したテレビCMと「富富富」のロゴデザインを使用したパッケージの発表会が7月18日に開催されたところです。

今後、販売に向け、生産面やPR面で次のように予定をしています。

【生産面の予定】

刈取研修会の開催

- ・魚津市：8月30日(木)PM
- ・黒部市：8月31日(金)AM
- ・みな穂：8月31日(金)AM

【PR面の予定】

- ・テレビCMの放送
- ・首都圏の商業施設や飲食店と連携したPR
- ・県内外のイベントでの紹介
- ・ねんりんぴっく2018の昼食用弁当に使用
- ・新聞等への広告掲示
- ・キャラバン隊によるPR

【販売面の予定】

- ・県内外で同日一斉販売開始
(10月中旬頃)
- ・デビュー記念イベントの実施

【次年産生産者募集の予定】

- ・10月下旬～11月に生産者の募集
- ・12月以降、生産者の決定



6次産業化の取組み紹介 ～(株)アグリライズ南保(入善町)



平成27年に設立された(株)アグリライズ南保(代表取締役:藤澤ちひろ氏)では、藤澤代表と妹さん夫妻の3名による主穀作経営(経営面積30ha)を展開し、近年は、多彩な園芸品目の導入とともに、6次産業化(農産加工)に取り組んでいます。園芸品目の内訳は、白ねぎの他、6次産業化も見据えたブルーベリー、いちじく等の果樹です。

藤澤代表は、自社生産の米や果実を活用し、「若い女性目線で“体にやさしいオリジナル加工品”を製造したい!」、「農閑期の就労確保と収入アップにつなげたい!」ということで、平成29年には2種類の加工品作りにチャレンジし商品化を図りました。

加工品	商品名	特徴	加工方法
玄米珈琲	genshin (玄神)	自家米を焙煎、ノンカフェインで、 デトックス効果があり体にやさしい	委託加工
ブルーベリー ジャム	B	大粒の品種を使用し、糖度は低めにし、 作りたてを提供	自家加工



玄米珈琲



ブルーベリー
ジャム

商品化に至るまでは試作研究を重ね、加工品の製造過程や施設整備の必要性を考慮し、自家加工又は委託加工を選択しました。また、ターゲットを「女性や健康志向の高い人」に絞り込んだことで、パッケージや販売方法をイメージしやすくなりました。現在、米とのセット販売でPRに努めるとともに、マルシェなどのイベントで玄米珈琲の飲み方を紹介したりしています。今後、自社HPでの掲載や近隣のカフェでも「玄米珈琲」をメニューに入れてもらうなど、まずは地元の方々に知ってもらえるようにと準備中です。初挑戦の6次産品ですが、大事に育てしっかりと成長させていきたいとのことです。

【活用した事業】 県単事業
・H29 農村女性起業チャレンジ事業